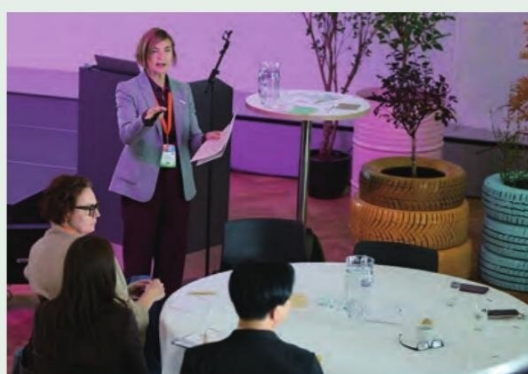




レセプションでリングダンスを楽しむ参加者



ワークショップの様子



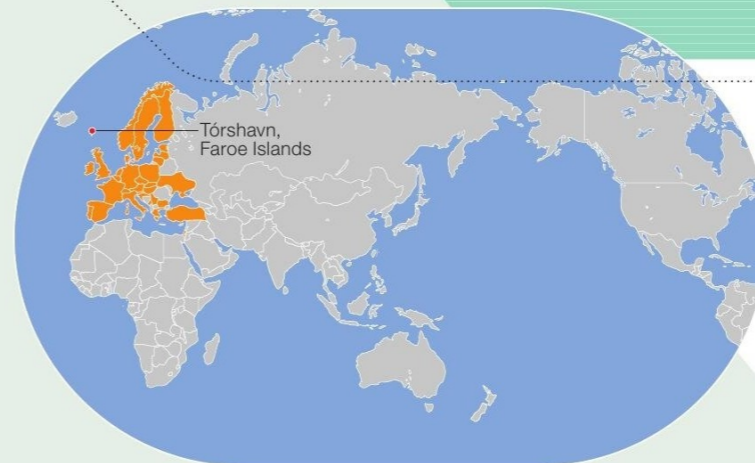
古代の文化中心地へのハイキングエクスカーション

# 観光地域づくり 海外最新事情

第8回

2025年9月30日～10月3日、フェロー諸島のトースハウにてCityDNA秋大会2025が開催されました。欧州を中心に世界中から130名以上のDMOおよび観光産業事業者が参加し、多様な意見が共有されました。

文：北島哲也  
(公社)日本観光振興協会 事業推進グループ  
観光地域づくり・人材育成部長



## CityDNA 秋大会 2025トースハウ、フェロー諸島参加報告

CityDNA (City Destinations Alliance)  
《フェロー諸島トースハウ》

欧州を中心に世界中から  
130名以上が参加

ヨーロッパDMOの現状把握と観光業界の世界的な潮流をつかむため、欧州を中心とした世界各国のDMOおよび観光産業事業者130名以上が参加したCityDNA秋大会に2025年9月30日(火)～10月3日(金)にかけて参加した。「観光の再形成、リバランス、活性化」のテーマを掲げて、さまざまなセッション

### 気候変動と観光の未来

気候変動と観光の十字路に関する極めて重要な議論となった。アントワープ経済観光局長のメルテンス氏と、NHLSステンデン応用科学大学および欧州観光未来研究所の研究者であるジアラ氏が主導し、CityDNAトレンドルームによって企画された。19都市のDMOが参加して共同開発した白書は、気候変動と技術革新によって形成される4つの目もらしい将来シナリオを解説した。1つ目は昨今の世界の夏の気温上昇の観点から、夏のバカンスの人気観光地がカナヌや地中海の島から、北のヘルシンキやコペンハー

やワークショップも行い、参加者からの質問やディスカッションを実施、多様な意見が共有された。

### CityDNAレセプション

CityDNAは歓迎レセプションをReinartúð (トースハウにあるコンサートホール)で行った。トースハウ市長からの歓迎スピーチに始まり、CityDNAのCEO、パブラ氏からのスピーチの後、旧交を温めている様子が各所で見られた。食材についても地元産の魚や野菜をふんだんに使い、地元産のビールが提供され、まさに地産地消を体現する交流となった。また、地元のリングダンスでは皆が手と手を取り合って踊り、コミュニケーションが深まった。

### コミュニケーション全体の協力

ハウス・オブ・ビュティフル・ビジネスのパーマー氏による、コミュニティに関する基調講演が行われた。このセッションでは進化するコミュニティの概念を探求し、現代社会や観光戦略における重要性を強調した。儀式や役割分担が村人をつつにする日本の高山祭の例や、社会学者フェルディナント・テニエスの

起り得るシナリオかを聞くアクティビティもあった。

### トースハウでのPEST別、ワークショップ

観光に対する政治的な要素、経済的な要素、社会的な要素、テクノロジー的な要素に分かれて、議論を交わした。私たちは政治的な要素を議論するグループへ入った。アムステルダムのマヤさんのファシリテートのもと、2つのテーマを参加者の投票で決定し、「Political uncertainty」[「Collaboration across sector」]について議論した。

### 古代文化中心地へのエクスカーション

古代の文化中心地へのハイキングエクスカーションがあった。ガイドはエコガイド資格があり、大学院卒、博識で多くの地域の方と知り合いで、合意形成ができていた。フェロー諸島の観光客受入数や、2030年までに100%再生可能エネルギーを目指すといった話があった。ふもとは別のガイドが合流し、漁業に関する話もあった。



開会式での記念撮影

### CityDNA (City Destinations Alliance)とは

ヨーロッパ各地の130都市のDMOが加盟。フランス、ディジョンに本拠地を置く、観光の潜在力を展開するために設立されたヨーロッパDMOの統括団体。ヨーロッパを中心としつつも北米のDMO統括団体 (Destinations International) とのネットワークもある。DMOが抱える課題を解決する場の提供、今後歩むべき方向性を共有する役割を果たしている。